

【1】 基本的姿勢・教育目標

学校経営のための基本的姿勢

生徒一人一人に自らの幸せな未来を切り拓く力を育てる

この基本的姿勢をもち、「『愛』『勉学』『自主性』『健康』」の教育目標を掲げ、以下の「学校像」「生徒像」「教師像」の実現を目指します。なお、本校の4つの目標の意味については、これからの時代に大きな変化が予想される社会、そこで生徒が将来直面するであろう課題に対応できる力を育成するという視点から、以下のように捉えます。

- 『愛』 = 自分とともに他者や自然を大切にする豊かな心
- 『勉学』 = 知識・技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力
- 『自主性』 = 新しい自分の可能性に挑戦し、よりより社会を目指そうとする力
- 『健康』 = 自分の心と身体の健康を把握し、その保持増進を目指す力

【2】 目指す学校像・生徒像・教師像

○ 目指す学校像

- 1 生徒に生きる力(豊かな人間性、確かな学力、健康と体力)を育む学校
- 2 生徒の自己肯定感を高め、個性を尊重し、一人一人の可能性を伸ばす学校
- 3 保護者や地域社会の期待に応え、地域との協働活動を重視する学校

○ 目指す生徒像

- 1 目標に向かい主体的に学び考え行動する生徒
- 2 他者の考えを認め、自らの考えや思いを人に伝えることができる生徒
- 3 心と身体の健康を大切にし、自分の可能性に挑戦する生徒

○ 目指す教師像

- 1 授業を大切にし、生徒一人一人の力を伸ばさせるため、常に授業改善を怠らない教師
- 2 厳しさと温かさを兼ね備え、生徒一人一人の個性や可能性を伸ばすとともに、生徒に社会人としての範を示す教師
- 3 生徒、保護者や地域社会の期待に応え、様々の問題に組織的な対応ができる教師

【3】 令和7年度の重点

- 1 コミュニティ・スクール東久留米モデル導入を視野に入れた地域連携と外部人材の活用による教育活動の充実
- 2 不登校生徒への支援体制の再構築と組織的ないじめ対応の確立
- 3 働き方改革を推進、ライフワークバランスの向上